

西南学院大学ラグビー部OB会 平成27年度第1回幹事会 議事録

作成：古屋

■日時 平成27年4月14日（火） 19:00～20:30

■場所 西南コミュニティセンター 2F 会議室 （福岡市早良区西新3丁目）

■出席者 （敬称略）73期：衣笠 74期：渡辺 75期：伊藤、77期：前田 79期：田中 86期：古屋
89期：因幡 94期：大曲 95期：大定 96期：川原田 10期：谷口 計11名

■内容

1. OB会の諸課題及び活動に関する事項

【審議事項】

(1) OB会費・強化費納入率向上施策

- ・ 昨年までの納入実績が今年も続くようであれば、来年の予算策定において大きな見直しが必要となる。3月のOB総会で意見があったが、この状況が変わらなければ、外部コーチを断るか、もしくは現役補助を大幅に減額するかという選択になる。それをふまえて活発な議論をお願いしたい。また、3月26日に西南同窓会ならびに4月10日に西南学生部と、指導者への経費補助について相談・交渉を行ったが、一言でいうと、両者とも難しいという結論だった。組織として収支バランスをもった運営を行う必要性を説かれると同時に、一部の部活に対して特別な支援を行うことは難しいとの説明があったことを報告する。【衣笠会長】
 - 本日は会計担当の長谷川役員が欠席のため、会費入金状況が不明であるが、今年から実施するOB会費の口座自動振替の賛同者は約50名で、引落日は5月27日である。【渡辺事務局長】
 - 同期等に対して、地道に個別対応し理解を得ることが重要と考える。【大曲幹事】
 - これまでも個別対応を行ってきたが、劇的に人数を増やすことは困難であり、仮に10人増えても5万円程度の増額である。であれば、もう一つの方法として、OB会費の単金を上げることも選択肢としてある。会費単金の増により納入者の数が仮に2割程度減ったとしても、総額としては概ね40～50万円程度の増額は見込める。そうなれば、ほぼ現在と同様の内容で運営は可能となる。現時点で単金値上げ論議は出来ないが、OB会費の値上げとなると総会に諮る必要があり、今年は納入率向上に向けて幹事会としても出来る限りのことをやって、それでも納入率が変わらないとなれば、OB会費の単金増の選択肢もふまえ、予算の検討を行う必要があると考える。【古屋幹事長】
- ・ 会費納入状況から各世代の比率を検証すると、00期以降のいわゆる若手OBの納入率がかんばしくない。この状況はこれまでも続いてきたが難しい課題である。この年代の納入率を上げていく必要があるが具体的にどうしたらよいものか？【衣笠会長】
 - この若手世代が気軽に参加できる機会を継続的に設けて、その機会に理解を求めることができればと考える。OB戦を設定できれば一番よいが、現役の状況を見ると、現在はOB戦を設けることも難しい。OB戦に変わるような機会、例えば、福大戦の応援招集、合宿時のイベントとかとか、、、いずれにしても、参加しやすい機会を設けることを考えなければならない。スポット的に、昨年は福大ラグビー部80周年のOB戦が開催されたり、先般の岩間先生の感謝の会があったが、そのような若手OBが参加する機会をとらまえて、若手OBに理解を求めていかなければならない。当面は、地道にOB会に対する協力と理解を得るようメール等にて案内をかける必要がある。【古屋幹事長】

- 現時点としては、新入部員の案内を絡めながら、OB会ホームページにグラウンドへの顔出し、会費状況や入金案内を行っていく。【前田副会長】

(2) 創部90周年記念行事について

- ・2018年（平成30年）が創部90周年となる。本日は、節目の行事（記念式典）を実施するか否かの方向性を確認したい。実施するというのでよいか？ 【古屋幹事長】
 - 異議なし 【参加者全員】
- ・実施となると、通常的には、午前がOB戦（対福大OB）⇒午後は式典となるが、そのイメージでよいか？ 【古屋幹事長】
 - 異議なし 【参加者全員】
- ・実施時期や場所は今後の検討となるが、それ以外に何か取り組みとして意見はないか？
以前に太田副会長から、Tシャツやタオル等の品を作成・販売して資金にあてる提案もあったが、他に考え得る案はないか？ 【古屋幹事長】
 - 80周年時に大掛かりに記念誌を作成したが、その後の10年間の活動について90年史として作成するという方法もある。 【渡辺事務局長】
 - 記念誌作成にかなりの苦労があったものの、この売り上げをOB会資金にあてることが出来て、かなり貢献した。【衣笠会長】
 - 完売させるのには非常に苦労した。【田中幹事】
 - 具体的内容については、今後の五役会、役員会の中で議論を行い、また幹事会に提案したい。【古屋幹事長】

【報告事項】

(1) 学校等交渉状況

- ・経費補助については先の報告のとおりであるが、推薦制度に関する一般校への拡大見込みについて確認したところ、“学部単位で一部導入したものの、この成果が確認された段階で次の対応を考える”ということが学校側の見解であり、現状としては特に進んでいないようである。【衣笠会長】
- ・昨年の長崎の最終試合（入替戦）で学生の怪我は承知していると思うが、事故の責任の所在を改めて確認したところ、学校側にある旨説明があった。【衣笠会長】

(2) 現役支援体制

- ・土曜および日曜と若手OBの3名（9期：山口OB、12期：田中OB、石川OB）に対し、淵上ヘッドコーチの指導補助をお願いし、本人より了承を得ていた。【衣笠会長】
 - 12期：田中OB、石川OBがグラウンドに来て、淵上ヘッドコーチより現役に紹介がなされた。【川原田ディレクター】

(3) 00期以降の学年幹事の在り方

- ・本日は10期：谷口OBが10期代表として幹事会に参加してくれた。他の学年（一部）にも参加要請しており、引き続き声掛けを行っていく。【古屋幹事長】

(4) 献呈用ボールの購入

- ・死去されたOBへ献呈するボールのストックがないので先行購入（3個）を行う。【渡辺事務局長】

3. 現役活動について 【川原田ディレクター】

(1) 現況報告と春シーズンの予定

- ・当面の練習試合 ⇒ 長崎大（5/10）、九州共立大（5/16）、久留米大（5/30 調整中）
- ・新入部員歓迎コンパ ⇒ 5月16日予定
- ・ボランティア活動 ⇒ 久山療育園（5/23）

(2) 新入部員等状況

- ・部員は、高鍋（No8）、九州学院（L0）、西南3名（SH・WTB・H0）、武蔵台（サッカー）の計6名の入部が確定。マネジャーは3名決定。